

アミロイドPET/CT検査・注意事項説明書

●アルツハイマー型認知症について

アルツハイマー型認知症とは、脳の神経細胞が減り脳が小さく萎縮することで症状が現れる認知症です。新しいことが記憶できない、時間や場所がわからなくなるといった特徴があります。アルツハイマー型認知症は65歳以上の人では最も多い認知症です。アミロイドベータと呼ばれる異常なたんぱく質の蓄積と神経原線維変化(過剰にリン酸化されたタウ蛋白の蓄積)という脳の中で2つの変化を特徴とします。病気が進むにつれて、もの忘れなどさまざまな症状が現れますが、進行は比較的ゆるやかです。

●アミロイドPET/CT検査の内容と安全性について

1. PETとは、Positron Emission Tomography(陽電子放出断層撮影)の略です。
2. 当院ではフルテタモル(商品名:ビザミル[®]静注)という検査薬を使用します。本剤はアミロイドPET検査薬として国内外で広く用いられている薬剤ですが、日本薬局方無水エタノール0.14mlが含まれており、まれな副作用として本剤との関与が否定できないアレルギー反応(顔面紅潮など)が報告されています。薬剤投与後は、管理区域内の待機室で撮影までの間90分間お過ごしいただき、万が一アレルギー反応が出た場合は症状に応じて対応させていただきます。
3. アミロイドPET/CT検査は、微量の放射線を出すフルテタモルを注射することで、脳内に沈着したアミロイドベータを画像化し、蓄積の程度を確認します。この検査は、アルツハイマー型認知症の診断に有効な検査のひとつです。
4. 1回のPET/CT検査による被ばく線量により、放射線障害が発生する事はありません。
5. 妊娠中の方は検査ができません。妊娠の可能性がある場合は、主治医にお伝えください。
6. 検査の流れは以下のとおりです。

① 受付

② 問診・着替え・体重測定

③ フルテタモル注射、その後約90分間の安静: お薬が体内に行きわたるまで90分ほど要します。

④ 撮像: 検査室に入る直前に排尿していただきます。撮像は円筒形の装置の中に入り、仰向けの状態で行います。検査時間は約30分です。

⑤ 着替え・退出

※閉所恐怖症のある方、腰痛などで安静を保てない方は事前にご相談ください。

※状況に応じて、ご家族の付き添いをお願いしています。

更衣およびトイレ介助が必要な方は、検査終了まで必ず付き添いをお願いします。

●検査の適切な実施に際して

当院では日本核医学会・日本認知症学会・日本神経学会が定める「アミロイドPETイメージング剤の適正使用ガイドライン」を遵守したアミロイドPET/CT検査を実施します。また当院では「アミロイドPET撮像施設認証」を取得しており、厳格な基準の下で検査を実施いたします。

＜アミロイドPET/CT 検査前の注意事項＞

●検査前日の運動に関して

検査前日および当日の激しい運動(テニス、ゴルフ、野球、ジョギング、カラオケ、長時間の運転など)は避けて、安静にお過ごしください。

●食事制限、薬について

食事制限はありませんが、前日から飲酒は控えてください。

処方されているお薬は平常どおり服用してください。

●ペースメーカー、ICD等について

体内にペースメーカー、ICDが入っている方はペースメーカー手帳をご持参いただくようお願いします。機種によっては撮影前に準備が必要な場合があります。

●授乳中、もしくはご家族に小さなお子様がおられる方へ

検査当日の乳幼児との接触はなるべく避け、検査後24時間以内の授乳は控えてください。

●キャンセル等

やむを得ずキャンセル・検査日時の変更が必要な場合には、必ず検査前日の午後3時までにご連絡下さい。検査薬はスケジュールに合わせて前日に注文しますので、事前に連絡なく検査をキャンセルされますと、使用できなくなります。その際は、検査薬の実費をいただく場合があります。

●その他

1. 検査機器の保守点検・検査薬の輸送体制には万全を期しておりますが、万一機器トラブル・輸送中の事故などの際には撮影できなくなる場合があります。その場合には、後日もしくは時間を変更し検査させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
2. 検査の保険適応は制限されており、疾患や目的によって検査費用は患者様の自己負担となることがあります。詳しくは主治医にご相談ください。

お問い合わせ先 高松赤十字病院 TEL. 087-831-7101

北タワー地下1階 15番 放射線科受付 内線 2000